

報道関係者各位  
プレスリリース

2026年3月26日  
日光ケミカルズ株式会社

日光ケミカルズ  
ISCC Biennial Conference 2026 で  
「NIKKOL グリシン亜鉛コンプレックス」の研究発表が  
ポスター賞を受賞

～毛髪・頭皮への多面的な有用性を実証、スカルプケアへの新提案～

日光ケミカルズ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員 中原秀之）の、中央研究所 製品開発部の高山研究員は、2026年に開催された国際化粧品技術者会インド支部主催の学術大会「ISCC Biennial Conference 2026」にて、ポスター賞（特別賞）を受賞いたしました。また、同大会において Cathleen Anne Naig Ysulat 研究員が口頭発表を行いましたので、併せてお知らせいたします。



中央研究所 製品開発部 高山研究員（左）、評価分析技術開発室 Cathleen Anne Naig Ysulat 研究員（右）

■ 受賞内容（ポスター発表）

「NIKKOL グリシン亜鉛コンプレックス」を用いた毛髪の紫外線ダメージ抑制に関する研究成果を発表し、その独創性と有用性が高く評価され、ポスター賞（特別賞）に選出されました。

発表者：中央研究所 製品開発部 原料開発 2G 高山 俊輔（たかやま しゅんすけ）

**発表タイトル：** Research on protection effect of UV damage to hair protein by zinc glycinate (グリシン亜鉛による毛髪タンパク質の紫外線ダメージ保護効果に関する研究)

**研究成果：** ヒトの毛髪が日常的な紫外線や熱、ブリーチ処理によって受ける酸化ダメージ (カルボニル化) に対し、グリシン亜鉛コンプレックスが顕著な抑制効果を持つことを明らかにしました。

## ■ 口頭発表内容

これまでスキンケア用途で注目されていた「NIKKOL グリシン亜鉛コンプレックス」の、頭皮ケアへの応用可能性について発表しました。

**発表者：** 中央研究所 評価分析技術開発室 開発 G Cathleen Anne Naig Ysulat

**発表タイトル：** The Efficacy of Zinc Glycinate in Anti-Malassezia Activity and Recovery of Compromised Scalp (抗マラセチア活性および頭皮炎症の緩和におけるグリシン亜鉛の有効性)

**研究成果：** フケ症などの頭皮トラブルに対し、グリシン亜鉛コンプレックスが「抗マラセチア菌」「抗皮脂分泌」「抗酸化」「バリア機能強化」という多面的なアプローチで頭皮の恒常性を維持することを実証しました。

## ■ NIKKOL グリシン亜鉛コンプレックスについて

本製品は、生体に不可欠な微量元素である亜鉛を効率よく細胞内へ取り込ませるため、アミノ酸 (グリシン) と錯体形成させた独自の機能性成分です。

- **細胞の耐性強化：** 皮膚中のメタロチオネインおよびグルタチオンを誘導し、紫外線や酸化ストレスに対する細胞自体の耐性を増強します。
- **多機能なスカルプケア：** 従来のスキンケア (美白・抗酸化) に加え、頭皮の炎症抑制や菌叢のバランス調整、バリア機能回復に働きかけ、恒常的な頭皮環境の維持を実現します。
- **ヘアカラーの退色抑制：** 毛髪と染料の結合を強固にする特性を持ち、ヘアケア製品への

高い配合メリットを有します。

当社は今後も、確かな学術的知見に基づき、世界のパーソナルケア市場に貢献する革新的なソリューションを提供してまいります。

お問い合わせ先：

日光ケミカルズ株式会社

広報室 担当：塚田

本社：〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町 1-4-8

E-mail： [nk\\_communications@nikkolgroup.com](mailto:nk_communications@nikkolgroup.com)